

## 領土問題や経済を議論

札幌 日ロフォーラム開幕

日ロ平和条約の締結の交流を図る日ロフォーラムが6日、札幌市



日本とロシアの研究者らが意見を發表した日ロフォーラム

北区の北大で開幕した。約1000人が参加した全体会では日本とロシアの研究者や経済関係者ら11人が、領土問題や経済発展などをテーマに意見発表した。

と指摘。法政大講師の堀江則雄さんは「日本政府は『四島返還』に固執すべきでない。ロシア政府の『第2次世界大戦の結果は譲れない』という考え方も問題」と述べた。

日本ユーラシア協会とロシア日本協会の主催で10回目。

北海道銀行産業戦略部長の西山泰正さんは、「ロシア極東地域は、食と住という人間に一番重要な部門の産業立地条件が北海道と類似している」と強調。「道内企業のビジネスチャンスが豊富にある」と語った。フォーラムは7日まで。

全体会で、ロシア日本協会全国理事のオレグ・カザコフさんは「日本とロシアの貿易・経済関係は潜在力に見合っていない」と述べ、領土問題が両国の関係発展を阻んでいる